

令和元年度

海上保安庁関係補正予算の概要

【第1号補正】 災害からの復旧・復興と安全・安心の確保

1. 戦略的海上保安体制の構築等	405 億円
(1) 「海上保安体制強化に関する方針」に基づく体制の整備	339 億円
① ヘリコプター搭載型巡視船	新規 2 隻 (増強) 128 億円
② 大型巡視船 (3,500 トン型)	新規 1 隻 (増強) 52 億円
③ 大型巡視船 (1,000 トン型)	新規 1 隻 (増強) 28 億円
④ 巡視船搭載ヘリコプター	新規 2 機 (増強) 55 億円
⑤ ヘリコプター搭載型巡視船	継続 1 隻 (増強) 10 億円
	<small>(平成 29 年度措置船の建造前倒し)</small>
⑥ 大型巡視船 (1,000 トン型)	継続 1 隻 (増強) 6 億円
	<small>(平成 29 年度補正措置船の建造前倒し)</small>
⑦ 大型測量船	継続 1 隻 (増強) 22 億円
	<small>(平成 30 年度措置船の建造前倒し)</small>
⑧ 大型無人機 (無操縦者航空機) の国内飛行実証	10 億円
⑨ 映像伝送機能の強化	17 億円
⑩ 海洋監視体制の強化 等	13 億円
(2) 業務基盤の強化	65 億円
① 中型巡視船	新規 1 隻 (代替) 5 億円
② 規制能力強化型巡視船	継続 1 隻 (代替) 1 億円
	<small>(平成 30 年度補正措置船の建造前倒し)</small>
③ 法執行業務体制等の充実・強化	57 億円
④ 航路標識の防災対策 等	4 億円
2. 海上保安官署施設等の復旧	14 億円
(1) 海上保安官署施設等の復旧	6 億円
(2) 航路標識の災害復旧	5 億円
(3) 災害救助等で使用した巡視船艇等の燃料費	4 億円
3. 台風 15 号・19 号を受けた緊急対策 (走錨)	2 億円

令和元年度海上保安庁補正予算 合計 422 億円

注 端数処理の関係で、合計額は必ずしも一致しない。